

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有有価証券・・・償却原価法（定額法）によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

建物、建物付属設備、構築物、車両運搬具、什器備品・・・定率法によっている。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

会館取壊引当金・・・賃借している土地の返還に伴う、建物の撤去費用として計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等に係る会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	10,000,000	—	—	10,000,000
小計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
退職給付引当預金	9,654,550	985,150	—	10,639,700
会館取壊引当預金	27,700,000	0	—	27,700,000
消防大会事業基金	6,000,000	—	0	6,000,000
慰霊祭事業基金	1,000,000	—	100,000	900,000
周年事業基金	1,900,000	950,000	—	2,850,000
減価償却引当資産	1,246,673	669,758	—	1,916,431
コロナ対策事業	0	1,260,000	—	1,260,000
小計	47,501,223	3,864,908	100,000	51,266,131
合計	57,501,223	3,864,908	100,000	61,266,131

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	10,000,000	—	10,000,000	—
小計	10,000,000	—	10,000,000	—
特定資産				
退職給付引当預金	10,639,700	—	10,639,700	—
会館取壊引当預金	27,700,000	—	27,700,000	—
消防大会事業基金	6,000,000	—	6,000,000	—
慰霊祭事業基金	900,000	—	900,000	—
周年事業基金	2,850,000	—	2,850,000	—
減価償却引当資産	1,916,431	—	1,916,431	—
コロナ対策事業	1,260,000	—	1,260,000	—
小計	51,266,131	—	51,266,131	—
合計	61,266,131	—	61,266,131	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	25,407,876	19,247,461	6,160,415
建物附属設備	37,659,248	32,114,824	5,544,424
構築物	409,500	369,828	39,672
車両運搬具	2,198,657	2,198,652	5
什器備品	6,447,483	6,397,187	50,296
一括償却資産	121,000	40,333	80,667
合計	72,243,764	60,368,285	11,875,479

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
受取補助金 県補助金	福島県	—	1,500,000	1,500,000	—	一般正味財産
小計		—	1,500,000	1,500,000	—	—
合計		—	1,500,000	1,500,000	—	